

# ゆうだい21栽培のポイント

## ゆうだい21の特徴 (コシヒカリとの比較)

- 出穂は2~3日、成熟は4~5日遅い。
- 稈長は5~10 cm、穂長は2~5 cmほど長い。
- 1穂粒数は多いが穂数はやや少なく、登熟歩合はやや低くなる傾向があり、収量性は同程度である。
- いもち病にやや強く、穂いもちへの移行が少ない。
- 高温条件下の栽培でも乳白米などの発生が少なく、外観品質が低下しにくい。
- 収穫適期幅が広く、刈遅れによる品質低下が少ない。
- 特有の粘りでコシヒカリを上回る良食味品種である。

## 栽培上のポイント

2021年 1月

- 1.【栽培適地】  
栽培適地はコシヒカリ栽培地域とほぼ合致しており、播種、移植時期ともにコシヒカリに準じる形でよい。
- 2.【種子予措】  
種子の休眠が深いため、**浸種期間を1~2日程度長めにすることで催芽時の揃いが改善される。**
- 3.【播種育苗】  
乾籾130g/箱程度。育苗期間の高温に注意し、伸ばし過ぎないように管理を徹底する。
- 4.【移植】  
栽植密度は**15~18株/m<sup>2</sup>(50~60株/坪)**。  
**1株当たり3本植え**を基準とする。
- 5.【肥培管理】  
**基肥・追肥共に現地のコシヒカリ施肥量に準じる。**  
窒素量モデル → 全層+追肥 (N4kg+N2kg)  
全層一発肥料 (N6kg)  
側条一発肥料 (N5kg)  
■全層施肥量は基肥4kg/10a程度とする。  
追肥は出穂15日前を目安に2kg/10a程度を施用する。(分施の場合、20日前と10日前にN1kgを2回施用。)  
■一発肥料の場合は後半まで十分に肥効が持続するものが望ましい。(120日タイプ推奨)側条施肥では施肥量を8割程度に加減すること。

- ※地力や移植時期に応じて適宜加減をする。(特に肥沃な土地では肥培管理に十分に留意すること。)  
※適切な施肥量・施肥時期によって倒伏させないことがゆうだい21多収の最大のポイントである。  
ケイ酸質肥料は受光態勢を向上させ、収量を安定させるので積極的に施用すること。
- 6.【水管理】  
分けつ期以降で有効茎数が確保され次第、葉色・草姿に応じて適宜中干しを実施する。目標25~30本/株出穂期前後は湛水状態(深水)を心掛け、早期落水はしない。出穂後の異常高温時は走水を実施する。
  - 7.【病害虫防除】  
コシヒカリ慣行栽培に準じてよい。いもちには比較的強いのでコシヒカリよりも防除の必要度は低い。縞葉枯れ病が多発する地域では、適宜防除を実施する。
  - 8.【収穫】  
緑色籾の割合で10%未満が刈り取り適期である。**刈遅れに伴う品質の低下がコシヒカリより小さいため、十分に登熟させることでくず米の発生を減らし、収量を確保することができる。**高温による急激急速な乾燥をせず、適正水分の確保に努める。

## ゆうだい21の栽培ごよみ

## 基本技術の励行で安定多収・高品質栽培を目指そう!!

栽培のポイント	育苗後半の高温下では徒長しやすいので、温度管理を徹底する!!!	移植3週間後生育目安 茎数 10本/株以上 葉齢 8.0 程度	最高分けつ期生育目安 茎数 25本/株以上 葉齢 13.0 程度 葉色板 3.5 程度	7月上旬に葉色が濃い場合は、倒伏リスクが高まる。倒伏による受光態勢の悪化は、登熟の低下を招くので、適切管理で追肥できる葉色にする事がポイント!!!	目標穂数 350本/m <sup>2</sup> 20本/株 目標収量 540kg/10a					
主な農作業	浸種は他品種よりもやや長めにし十分に給水させてから芽出します。播種量は <b>乾籾130g/箱程度</b> 。適正播種量での播種を心掛ける。	施肥量モデル ■全層+追肥 (N4kg+N2kg) ■全層一発肥料 (N6kg) ■側条一発肥料 (N5kg) ※地力に応じて適宜加減する。	有効茎数を確保次第、 <b>間断灌水</b> を基本に <b>葉色・草姿など生育に応じて適宜中干し</b> を行う。低温時は深水で管理する。	追肥時期は出穂前15日が基準とする。出穂前20日と10日前の分施も可能。地力や葉色の状態によって適宜加減する。	収穫適期は <b>出穂後45~50日</b> 。緑色籾割合では10%未満である。 <b>十分に登熟させ収穫</b> を行う。 <b>早刈り厳禁(くず米の発生を防ぐ)</b> 。過乾燥に注意する。					
生育ステージ	播種 出芽 育苗 移植 活着 分けつ	分けつ盛期	最高分けつ期	幼穂形成~穂孕期	出穂期	登熟期	収穫期	乾燥調製		
出穂前日数				-20	-10	0				
草丈(cm)		35	55	70	85	110	120(稈長95)	130(稈長95)		
茎数(本/株)		10	23	25	25	23	18	15		
水管理	原則浅水で活着促進	浅水(低温・強風時は深水)	間断灌水	間断灌水	飽水管理	飽水管理	深水	深水	間断灌水	落水
月	4月	5月	6月	6月	7月	7月	8月	8月	9月	10月

※上記の栽培ごよみは、ゆうだい21の育成地の栃木県真岡市における標準的な栽培様式である4月上旬播種(稚苗育苗)、5月上旬移植を基本にして、作成しております。気象・土壌などの栽培環境や作期が異なる地域では、それぞれの地域の条件にあった栽培を目指してください。栽培技術に関するお問い合わせは、下記問い合わせ先【宇都宮大学附属農場】までご連絡ください。

問い合わせ先: 宇都宮大学農学部附属農場 〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷443 Tel:0285-84-2424 mail:fuznoujy@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp